

一般社団法人静岡県測量設計業協会

第484回 理事会議事録

日時 平成28年12月7日（水）15:00～16:30

場所 静岡県測量設計業協会会議室

出席者（理事）杉山博、藤山義修、大鐘祥太郎、鈴木達美、亀谷寧一
近藤拓己、小澤和宏、山村卓道、桑原 篤
（監事）吉田英司
（相談役）鶴田忠男

理事10名のうち9名が出席し、定款第32条第1項による定足数に達している。

議長 定款第31条第1項の規定により、杉山博会長が議長となる。

議事経過の概要とその結果

議題1. 「測量の日」中部地区連絡協議会の予算について

予算状況が厳しくなっていることを桑原事務局長が説明した。杉山会長からは日測協と各県測協の負担金増額（案）の経緯について説明があった。審議した結果、静測協としては負担金増額（案）受け入れることで理事会は承認した。

議題2. 静測協理事の資格と正会員（法人）の代表者について

理事である大鐘副会長が自社の代表権が無くなる。これに伴い、静測協理事の資格の有無について検討したことを桑原事務局長が説明した。杉山会長からは、渥美顧問弁護士の見解を聞いて判断するようにしたと説明があった。大鐘副会長からは自社の代表権が無くなった経緯について説明があった。審議した結果、理事選任時には会社の代表権があったこと、代表権喪失が理事資格喪失要件ではないとの解釈のもとに、定款第5条第3項に基づき会社の代表者としての届け出を貰うとともに、理事として任期まで勤めてもらうことに異議ない旨、会社から当協会長に提出してもらうことで、理事会は了承した。

議題3. 静測協事務局パソコン・ソフト更新の作業状況について

桑原事務局長が作業の進捗状況を説明し、キャノンの見積り価格は他とほぼ同じであり、現在契約中で移行に伴うロスも抑えられるので、キャノンに決めたいと提案した。杉山会長からは、キャノンにしたいことは理解できるが、土木積算S・E管理システムについては、引き続きアドバイザーに相談するようにと発言があった。吉田監事からは、キャノンにさらに値下げをす

るように働きかけたらと提案があった。審議した結果、土木積算S・E管理システム以外についてはキャノンに決定することを理事会は承認した。

議題4. 職員賞与（冬）の支給率について

桑原事務局長が支給率について説明した。杉山会長からは、年収を加味して給与月額を抑えているとの発言もあり、審議した結果、理事会は承認した。

報 告

1. 平成28年度地理空間情報産学官中部地区連携協議会の開催

協議会委員となっている亀谷技術委員長が出席すると、桑原事務局長が報告した。杉山会長からは、入手した情報は会員にお知らせするようにと発言があった。

2. 平成28年度第3回情報化施工推進WGの開催

亀谷技術委員長、辻本委員が出席すると、桑原事務局長が報告した。

3. 「測量の日」中部地区連絡協議会実行委員会の開催

杉山会長、小澤広報・経営改善委員長及び桑原事務局長が出席すると、桑原事務局長が報告した。

4. 全測賀詞交歓会

正式な案内は協会に届いていないが、開催時間が判明し、杉山会長が出席すると、桑原事務局長が報告した。

5. 全測連木村専務理事瑞宝中綬賞記念祝賀会

全測連が祝賀会を開催し、出席依頼があったことを桑原事務局長が報告したところ、杉山会長が出席することで了承された。

6. 建産連賀詞交歓会

鈴木副会長と桑原事務局長が出席すると、桑原事務局長が報告した。

7. 県立科学技術高校「インターンシップ報告書」

報告書は参加した生徒41名の感想文であり、その内当協会員2社が受け入れた4名の掲載箇所を資料として配布したと桑原事務局長が説明した。

8. その他

平成29年度定時総会の開催日・会場を決めたいと、桑原事務局長が提案し、理事会で審議したところ、平成29年5月16日（火）午後、クーポール会館において開催することが承認された。

12月1日に開催された全測連全国会長会議で配布された沖縄県測協要請書について、杉山会長から説明があった。

静測協と県建設コンサルタンツ協会との合同事務所化に向けた両協会の協

議状況について、杉山会長が説明するとともに、平成29年度定時総会では事務所合同の了承を得たいと発言があった。また、各支部では、支部による行事開催の都度、合同事務所化について会員の理解を得ていくこととした。

以上の議事が正確であることを証するため、定款第33条第2項の規程により、出席した会長及び監事が記名押印する。

平成28年12月7日

会 長 杉 山 博 ⑩

監 事 吉 田 英 司 ⑩